

未来へつながる確かな安心をお届けします

肥後保険企画

2023年2月126号（毎月1回発行）

発行：肥後保険企画株式会社 監修：渡辺 時貞

〒860-0843 熊本市中央区草葉町4-20 富士火災熊本ビル1F
Tel 096-342-6233 Fax 096-342-6390 URL <http://www.higohoken.co.jp>

定期便

check



©2010熊本県くまモン

日々の営業活動のなかで、ご縁をいただいた方々にお届けしています。

お忙しい毎日の“一息”としてお読みいただけましたら幸いです。

いつも

ありがとうございます



- ▼ こんにちは！渡辺です。いつも定期便をご覧いただきありがとうございます。
- ▼ 「吐いたらハラスメントと言われたり、会社に来なくなったりするのは…」。
- ▼ 最近は事なかれ主義や、社員と友達のような関係を築いて、結果として社員から甘く見られている社長もいるようです。
- ▼ 経営者はあくまで「使用する側」であって、労働者は「使用される側」です。それを理解したうえで、きちんと線引きして付き合わない労働関係が崩れ、やがてトラブルにつながってしまいます。
- ▼ 問題が起きたとき、労働法に不平不満を言ったり、外部要因のせいにする経営者もいますが、労働法をきちんと守っている人はいますし、結果も出しています。
- ▼ 最後に頼りになるのは自分だけ。労働問題も同じで、突然解決策が降って湧くことはありません。専門家の力を借りながらも結局は自分でやるほかないのです。
- ▼ 私たちは保険のプロとして経営者の皆さんの力になりたいと思っています。
- ▼ 仕事始めの1月4日は、社員全員で藤崎八幡宮へ初詣に行ってきました。コロナ禍の影響で全員での初詣は実に2年ぶり。
- ▼ AIGの研修生の皆さんとも一緒にぎやかな初詣となりました。



藤崎八幡宮

生命保険お役立ち一口情報

生命保険の保険料は、ひと月あたりで見ると数千円と楽に払える金額であったとしても、一生を通して払う保険料は莫大なものになります。



「保険料は一生上がりません」といった広告など目にする、「保険料は一生上がらないけど、一生払うんだ」と捉えることができますね。

終身払いの場合、死亡する年齢はわかりませんが、平均寿命まで生きると仮定して、60歳や65歳など短期間で支払い終えるほうが保険料は安くなります。

ポイントはいつまでの保障が必要かということと、保険料をいつまで払うのかということです。

保険選びの基本はできるだけ「短い期間」で加入することです。賢く選ぶためには、期間を区切ることから始めてはいかがですか？



手書きなので枚数に限りはありますが、絵はがきをお届けしています。



大阪や東京で出現しているクジラが話題ですが、明治時代にはなんと宇城市三角町の内港にもクジラがいて潮を吹いていたという話を祖母から聞いたことがあります。クジラは七福神の恵比寿様と関係が深く、商売繁盛、大漁など金運上昇の縁起物です。

クジラのみならず、海の生き物が豊かに幸せに生きていける海を守っていかなければならない…。今月は雄大に泳ぐクジラの絵はがきをお届けします。

ランサムウェア攻撃の脅威！ 身代金を支払った企業は驚きの4割



代表的なサイバー犯罪のひとつランサムウェア攻撃は、感染した端末から攻撃者につながるチャットへと誘導されて、連絡を求められます。無視していると、ハッカーが被害企業の社員や取引先に連絡し、攻撃を受けたことが外部に漏れてしまう恐れもあります。

業務に関わる重要データを人質にとられた企業が本意ながら身代金を支払う事例は少なくなく、被害企業の4割は身代金を支払ったという調べもあります。



サイバー攻撃が高度になるなか、企業は専門知識が足りないため、復旧業者や弁護士といった「交渉人」に頼るケースが出ています。交渉人は交渉期限の延長や要求額引き下げ

などを依頼企業に代わって交渉します。

ハッカーとの交渉経験のある日本の業者は「交渉の結果、身代金が半額～4分の1程度に下がることはよくある」と言います。

ただ、交渉人となる復旧業者は、データを復旧することで成功報酬を得るため、自社復旧が難しければ、ハッカーに身代金を支払ってでも復旧させることもあるようなので任せることには注意も必要です。攻撃者に実績を与えれば再脅迫にも繋がりがねず、法務リスクを考えれば、絶対に身代金は支払うべきではありません。

と、これだけサイバー攻撃は身近なリスクになっているんだとの認識は持っておいたほうがよさそうです。



肥後保険登山倶楽部

肥後保険企画登山倶楽部発足!!

今月より新たにスタッフとして職務に就くことになりました萩尾です。どうぞよろしくお願いいたします。

今年は九州で一番早くご来光が見ることができ元越山（標高582m）で初日の出を拝んできました。低山にもかかわらず山頂の気温は氷点下6℃!。霜も降りていて地面はカチカチです。

日の出の時刻より30分ほど先に着いて太陽が顔を出すまでの時間がとても寒いのですが、濃い青からだんだんオレンジに変わり太陽が出てしまうと金色に変わっていく様が何とも言えない美しさで感動します。

新しい環境で働ける年の初日の出が拝めたことに感謝し、お客様への安心をお届けすることをモットーに精進してまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

これから山情報をお届けしますのでお楽しみに!



2023年の初日の出

スタッフ通信



今が旬の鹿児島産ボンタンをいただきました。地域によりボンタンやザボンとも呼ばれ、西日本（特に高知・熊本・鹿児島）では色々な種類が栽培されているそうです。

高知県出身の新入社員がいるのですが、高知では「土佐文旦」や「水晶文旦」などが特産品だそうです。ボンタンの美味しい食べ方は、甘味が少ないため砂糖や蜂蜜をかけて食べるのがおすすめと聞き、蜂蜜をあえて食べてみました。さっぱりと夜のデザートに、朝はヨーグルトに入れたり、美味しくいただきました。

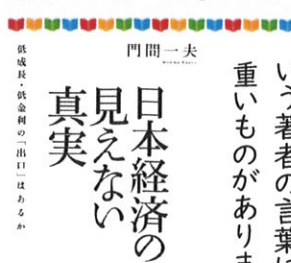
身離れがよいので調理しやすく、皮を剥いている瞬間から部屋がアロマの香りに満たされ幸福な気分。身が淡いピンク色と黄色のグラデーションなので彩りが美しく食卓に映えるのも魅力。

季節の地の物を味わい栄養をいただき、寒い2月も元気に乗り切りたいと思います。



鹿児島産ボンタン
いただきました!

日本経済の见えない真実
低成長・低金利に「出口」はあるか



The Invisible Truth
The Invisible Truth

「確かにアベノミクスは有効な成長戦略を打ち出せず、結果として金融政策に頼りすぎた。効果がわからないまま2%の物価目標や異次元緩和に動いたが、それは間違っていた」という著者の言葉には重いものがあります。

乱読コーナー

「2%の物価安定目標」の導入に関わった日銀の元理事である著者は、日本の生産性には伸びしろがあるという通説に異を唱えています。

経済成長をあてにして医療や年金といった課題を解決しようとしても、いずれどこかで行き詰まる。がんばれば成長できるといふ根拠なき考えを捨て、低成長を前提に経済政策を組み立て直すべきだ。これが本書の一貫したテーマです。生産性の水準である2021年の一人当たりGDPが世界27位の日本。今後はさらに順位を落とすとみられています。